

## 令和5年度 議会改革の目標に対する評価

目標	取組目標	評価	評価理由
町民意見の反映	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 町民の多様で幅広い年齢層の意見を把握するための方法を検討し、実施する。</li> <li>・ 町民意見の中で、議会として共有化すべき意見を議論する場を開設する。</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 10月開催の議会報告会において、吉田町議会議員選挙が無投票であったことについて意見を伺い、その意見について議員間で議論した。また、12月定例会において議会報告会で得られた多様な意見を一般質問や質疑に生かすことができた。</li> <li>・ 町民意見の議員間での共有化に向けて、議員情報掲示板を作成し、いくつかの情報が投稿された。その活発な活用および議論の場の開設については今後進める予定である。</li> </ul>
議案審議の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ より良い議案審議が行われるよう、審議方法を検討し、実施する。</li> </ul>	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議案審議方法の改善（議案の内容確認・論点整理の見直し、一般質問通告方法等）について議論を進めている。</li> <li>・ 質疑等の発言者に偏りがあり、審議方法の改善だけでは議案審議の充実の実現は難しく、今後の課題である。</li> </ul>
ICT活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会運営及び議案審議を効率化するためにICTの活用を検討し、実行する。</li> </ul>	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タブレットの活用目的を明確にすることができなかった。</li> <li>・ ICT活用に向けての環境整備について予算上の課題が浮き彫りとなった。</li> </ul>

※ 令和5年度末に議員の協議により議会としての評価を決定し、公表する。

評価基準は『設定以上にできた ⇒ ◎、設定どおりにできた ⇒ ○、設定には足りなかった ⇒ △、出来なかった ⇒ ×』